

(仮訳)

アフリカ開発のための科学技術に関する各国学会会議の共同声明

科学技術と技術革新は、先進主要 8 カ国首脳会議 (G 8) でよく取り上げられる議題である。G 8 の首脳たちは、2000 年の沖縄サミットではグローバルなデジタル・ディヴァイド (情報格差) に対処するためのタスク・フォースを設置し、また、2003 年のエヴィアン (Evian) ・サミットでは、持続可能な開発に向けた科学技術に関する行動計画を承認した。これらの重要な構想の推進が今後も引き続き必要であることは明白である。

より一般的に、アフリカなど開発途上の国々が直面する様々な課題に取り組んで行くためには、科学技術や技術革新が基本的に重要であるという点を強調したい。各国の生活水準の持続的な改善を確保するという目標は、極めて複雑であり、科学者をはじめ経済学者や社会学者など、開発分野の専門家の知見を活用しなければならない。このような取り組みにおいて最も重要なのは、ガヴァナンス、安全保障、貿易といった課題とともに、アフリカ各国がいかに世界の科学技術と連携し得るかという点である。

そのため、我々、先進主要 8 カ国の学会会議およびアフリカ学会会議ネットワークは、2005 年 7 月にグレンイーグルズ (Gleneagles) で開催される G 8 サミットに集う首脳をはじめとする世界の指導者たちに、以下の勧告を速やかに実施するよう訴える。我々もまた、これら喫緊の目標の達成に向けて適切なパートナーと連携していくことを決意する。

- 貧困緩和、経済成長をはじめ、保健衛生や農業の分野など、アフリカにおける国際的な開発のあらゆる側面での成功と持続可能性は、科学技術と技術革新によって支えられていることを認識する。

アフリカ諸国は、それぞれの国が抱える特定のニーズに応じた科学技術的な解決法を、自ら開発、採用、そして使いこなす能力を身に付けなければならない。さもなければ、これまで以上に先進国からの助言や援助に依存することになってしまう恐れがある。

- 各国が自国の科学能力への投資を行い、業績ベースの手順や制度を確立することが、アフリカにおける科学技術と技術革新の有効活用に不可欠であり、健全な政策決定、優れたガヴァナンスおよび産業発展の基礎であることを認識する。

アフリカの国々には、教育および能力開発のための適切なメカニズムやインフラの整備が必要である。こうした整備が進めば、科学的実証の伴った有意義な政策の立案が可能になり、地域のニーズに適切に対処できると同時に、科学技術分野の国際的なコミュニティにも参画ができるようになる。

- アフリカにおける技術革新、成長および政策決定にとって、各国のニーズに合わせた知識の創出、発信及び応用を促進する環境の推進と整備が基本課題であることを認識する。

十分な訓練を受けた知識人を養成し、その集団を維持し、初等教育から高等教育に至るあらゆるレベルの教育に配慮が行き届くようになるためには、持続可能な国家構造および戦略が必要である。

- アフリカの大学の再生を助けるとともに、科学、エンジニアリング、技術に関する先端研究拠点ならびにアフリカの工学研究機関などの整備を支援する。

例えば、2005年3月に公表された「アフリカ委員会」の報告書でも、特に科学技術の分野において、高等教育および先端研究拠点への投資の必要性が強調されている。

- 科学技術と技術革新における能力開発を、特定な開発分野のものも含めて、あらゆる国際的な援助プログラムに明示的に盛り込む。しかし、同時に、こうした構想がアフリカ主導型であること、そして社会的、文化的多様性に配慮したものであることを確認しておく必要がある。

科学技術に対する単独の投資では不十分である。分野特定のプログラムに、初めから、能力開発構想を組み入れて実施すべきである。例えば、保健衛生に関するプログラムは、その終了後も地元の人々が継続的に課題に取り組んでいけるように、地域の専門家と資源の開発を構想しておかなければならない。

- 最先端の科学技術と技術革新の交流および共有を、先進国と開発途上国の間で、また世界の開発途上国同士の間でも促進する。

全ての国々が互いの経験を共有し、最善策の実施を図るためには、適切なネットワークの整備が極めて重要である。

- アフリカの科学技術と技術革新に関する能力開発のために、財源を特定する。

適切な財政支援がなければ、何も変化は起こらない。

- 今後も引き続き、科学技術と技術革新における能力開発を、G8サミットの議題とする。

毎年のサミットで本議題を定期的にアップデートすることは、改革への活力を維持する上で有効である。

開発の基礎に科学技術と技術革新を根づかせることができなければ、アフリカ開発の期待は失望に終わるかもしれない。

アフリカ科学アカデミーネットワーク¹、アフリカ
(Network of African Science Academies)
カナダ王立協会、カナダ
(Royal Society of Canada)
フランス科学アカデミー、フランス
(Académie des Sciences)
自然科学者レオポルジナ・ドイツ・アカデミー、ドイツ
(Deutsche Akademie der Naturforscher Leopoldina)
リンツェイ国家アカデミー、イタリア
(Accademia Nazionale dei Lincei)
日本学術会議、日本
(Science Council of Japan)
ロシア科学アカデミー、ロシア
(Russian Academy of Sciences)
英国王立協会、英国
(Royal Society)
全米科学アカデミー、アメリカ合衆国
(National Academy of Sciences)

- 1 「アフリカ科学アカデミーネットワーク」(NASAC)の加盟会議は、「アフリカ科学アカデミー」「カメルーン科学アカデミー」「ガーナ技術科学アカデミー」「ケニア国立科学アカデミー」「マダガスカル国立科学アカデミー」「ナイジェリア科学アカデミー」「セネガル科学技術アカデミー」「ウガンダ国立科学アカデミー」「南アフリカ科学アカデミー」である。